

平成21年度：滝集落と金屋集落の話し合いスタート (遊休農地対策、獣害対策、地域再生等)

京都府単独事業
「**命の里事業**」

○過疎高齢化集落の連携
○集落を越えた話し合い
など

集落の垣根を越えた活動をするために、
「**滝・金屋地域連合組織**」を立ち上げる。

平成21年度：獣害フェンスを両集落をつなぐ形で設置。

連合組織で他地域の視察や共通の課題に対する協議を重ねるにつれて、連携しても課題解決していけることが見えてきた。

『命の里』事業（京都府独自）

課題

【人・組織】

地域の再生を担う**人材や組織が不足**

【仕事・所得】

仕事が少なく、地域で暮らすための**所得の確保が困難**

【生活環境】

生活交通の不足、独居高齢者の孤立、学校の統廃合など、地域の**生活環境に様々な課題**

目的

- ・過疎化・高齢化で**存続の危機**にある農山村地域で、地域の抱える多様な課題を解決する
- ・そのために**複数の集落が連携**して、総合的な施策により**地域の再生と持続的発展を図る**



里の仕事人



地域連携組織の設立

広域化の経緯

〔 ～ 平成21年度 〕

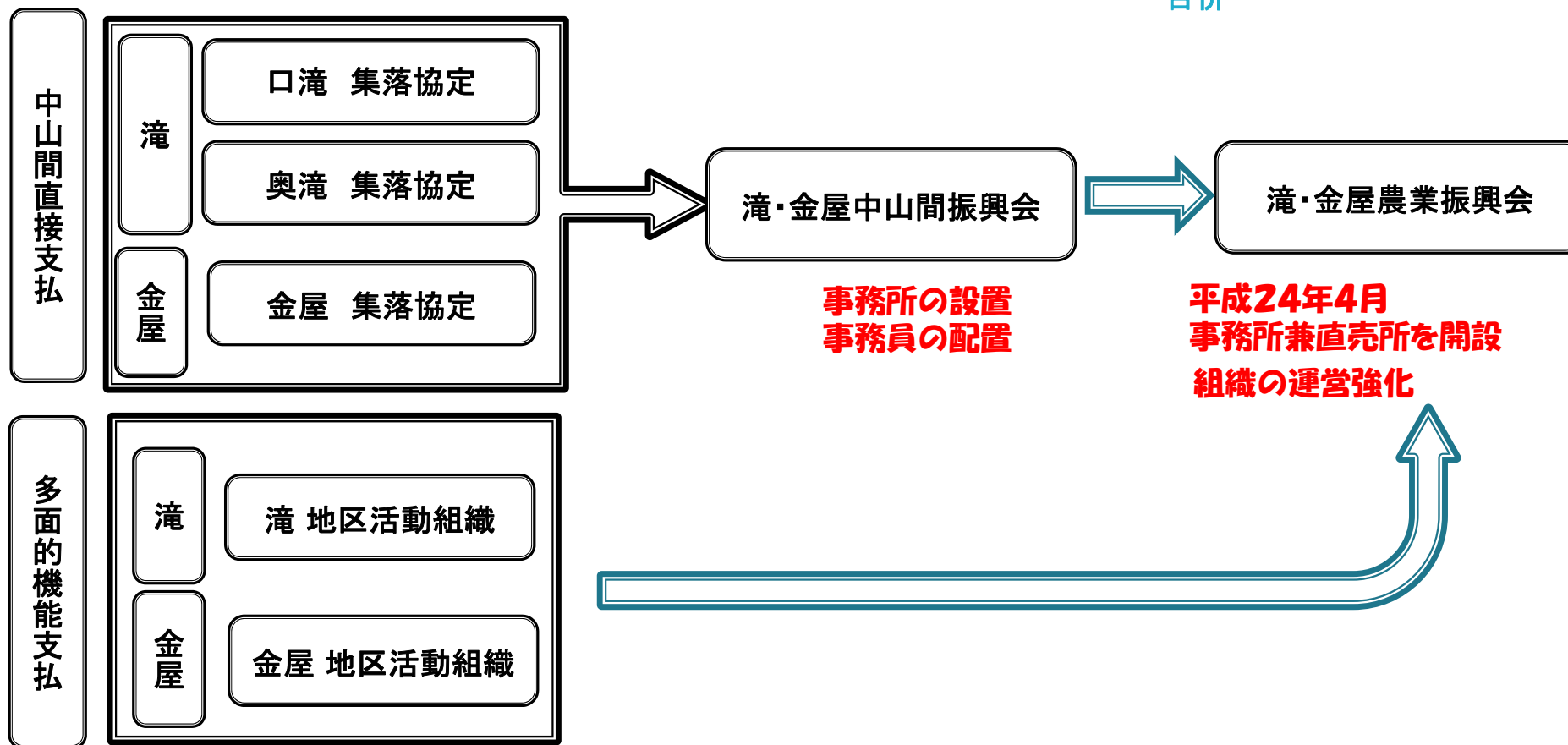
中山間直接支払制度
農地・水・環境保全向上対策事業を
各地区で取り組んでいた。

〔 平成22年度 〕

まず中山間組織を一本化

〔 平成24年度 ～ 〕

農地・水組織を中山間組織に
合併



(1) 運営体制

①組織の運営強化

チーム編成による役割分担、事務の効率化

②女性の役員の誕生

3チームすべてに女性役員を入れ、女性の視点も取り入れる。

③事務所の設置、女性事務員の雇用

1ターンの新規就農者の配偶者を雇用



【目的】

①レストランへの食材供給や地域農業者の所得向上

②事務所の併設によるコミュニティ促進の場

③事務員の設置による役員の事務軽減



滝・金屋農業振興会 組織体制

農業者：84戸
非農家：5戸
団体：6組織
(農業法人2社)

滝・金屋農業振興会

◆地域住民
・滝集落
・金屋集落

◆農業生産法人
・(有)あつぷるふぁーむ
・(有)誠武農園
◆農業者

◆滝農事組合
◆金屋農事連絡会

農業振興チーム

農地・水路・農道の
管理、獣害対策など

地域活性化チーム

Xキャンプ受入地域交流事業
子供キャンプ受入など

収益事業チーム

森の直売所の運営など

連携

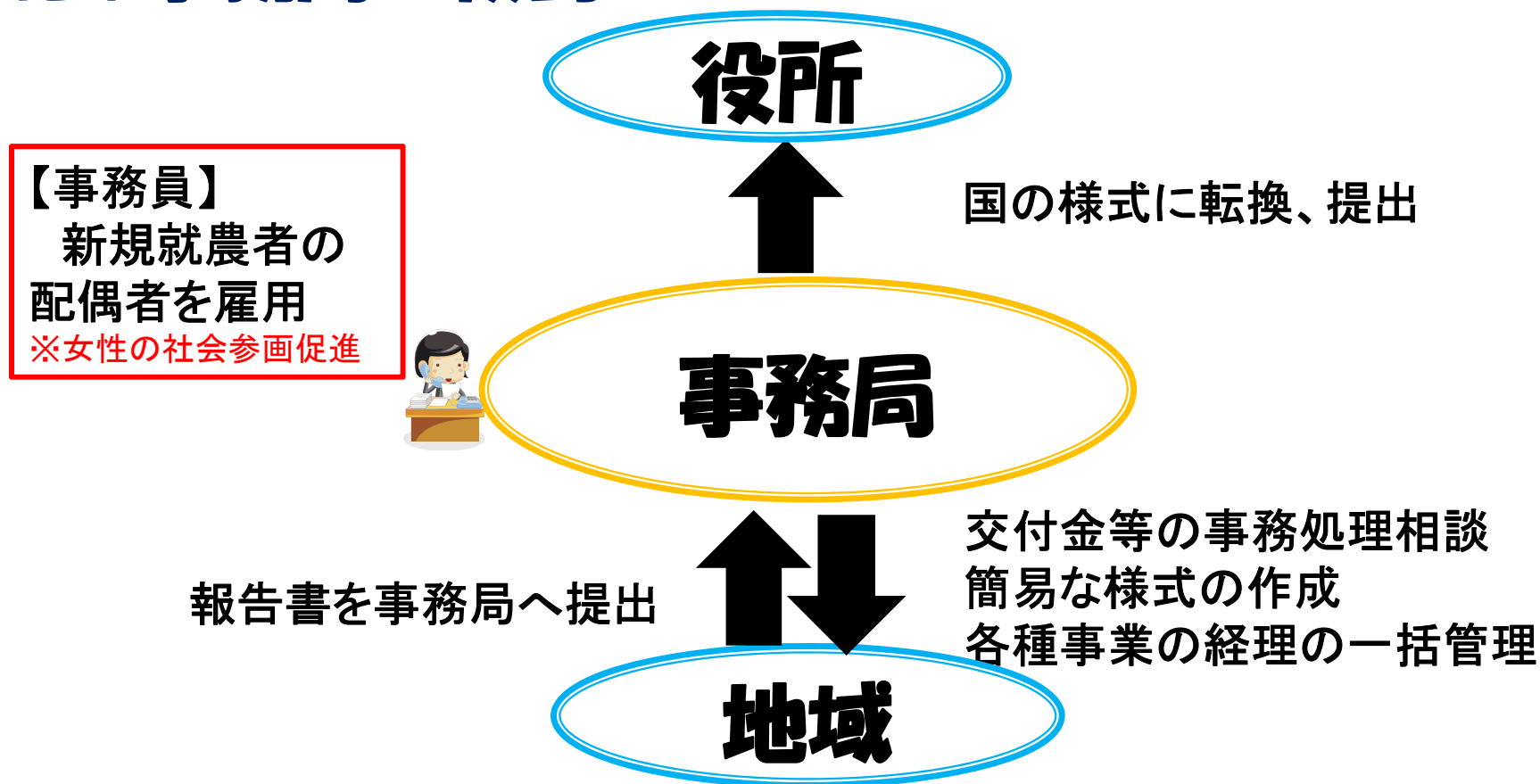
(株)応用芸術研究所
京都Xキャンプ (関西地域の大学生 約50名)

連携

リフレかやの里
(都市農村交流施設)

※運営協議会会長を振興会会長が兼務

(2) 事務局の役割



- ◆ 事務の一元化による農家の事務軽減
- ◆ 広報紙やブログ、SNSによる地域情報発信
- ◆ 住民の交流の中心

(3) 行政との関係



**人・農地プラン 京都府下で2番目の地区
として、平成24年10月にプランを作成
担い手として、新規就農者の育成など**



**平成26年度からは、農地中間管理機構へ
農地を集積する取組みも開始
(H27 約75ha)**



**荒廃茶園 耕作放棄地の地主との調整に
よる解消 (約2ha)**



振興会作成簡易様式

滝・金屋中山間振興会作業日報

(中山間 共同活動 向上活動)

実施地区: _____

責任者: _____

※写真を添付のこと

1. 作業年月日

平成 年 月 日 時 分 ~ 時 分 時

2. 作業者氏名

3. 作業内容

4. 使用器具等

5. その他

広報誌(4回/年)発行



(4) 農地管理

○ 獣害対策

○ 耕作放棄地対策

○ 農地集積



集積された農地法面の
草刈り(5ha)



獣害柵の点検(約12km)



耕作放棄地解消(約2ha)

(5) 与謝野町ひまわりフェスティバル

**平成25年度から、滝・金屋農業振興会が町の花を
当地区内で咲かせようと5haの農地を団地化。
ヒマワリ栽培やイベントを金屋地区で開催している。**



(6) 「京都Xキャンフ」との連携（平成24年度～）

①京阪神の地域活性化を志すさまざまな大学に通う大学生が与謝野町に泊まり込み、農山漁村が持続可能な地域社会を模索。

②学生のそれぞれの専門分野の視点から地域課題に向き合う活動をおこなっている。

「山守」「職守」「育守」「食守」「旅守」プロジェクトを展開。



ご静聴ありがとうございました



項目		説明内容	備考
活動場所		京都府与謝野町滝集落、金屋集落	
対象農用地面積		全体 104ha（田：100ha、畑：4ha）	
対象施設		水路 46.7km、農道 19.8km	
交付金額		農地維持支払 305万円、 資源向上支払（共同） 182万円 資源向上支払（長寿命化） 443万円	
活動開始年度		（広域化）平成24年度～	
組織の構成員		農業者・・・農業者 84名、農業法人 2社、農事組合法人2 非農業者・・・非農業者5名、自治会2 リフレかやの里、(株)応用芸術研究所	
主な活動内容	農地維持活動	農地法面の草刈り、水路の土砂上げ等 推進活動としては、話し合いを通じた、リタイア農業者の農地を農地中間管理事業を通じた農地集積も進めている。	
	資源向上（共同活動）	町の花であるヒマワリの栽培（5ha） 獣害柵の点検、補修 水路・農道補修	
	資源向上（長寿命化）	農道舗装、水路更新	